

鉄鋼流通三団体合同野球大会 準決勝

生涯青春優勝まで1勝進出

先発伊藤は要所を締める投球。ヒットは6本打たれたが失点したのは長打と犠飛が絡んだ3回だけ。場面を見極めた緩急を使った投球で相手打線を翻弄した。中盤でエンジンアップを狙われていると感じた伊藤は、ストレートとスライダー主体に変更。組立を変えた終盤5回以降は無安打に抑え、初の決勝進出を決めた。



伊藤 1失点粘投



小美濃



草野

四球と失策で出たランナーを4番草野がきっちり返し、一点を先制。続く5番川田がセンター前ヒットで繋ぎ、6番小美濃が満塁の場面で死球。初回に2点を先制し、伊藤を援護した。



センター前タイムリーで追加点(前島)



ライトオーバーの二点タイムリーを放つ(前島)



田邊好守連発
遊撃手田邊、守備の安定感抜群。今年夏の甲子園を沸かせた北海高校出身。



▲関東を中心に大応援団が選手を後押しした。

■試合結果 10月23日

MM建材 対 根津鋼材		1	2	3	4	5	6	7	計	H	E
MM建材		0	0	1	0	0	0	0	1	6	1
根津鋼材		2	0	0	1	2	0	×	5	8	0

◆その他の試合結果

準決勝 入船鋼材 9-6 古賀オール



一生懸命ボールボーイを務めた(佐藤俊)

子供同士の新たな交流も。

先制点、中押し、ダメ押しと理想の試合展開で快勝した。大応援団の後押しもあり、雰囲気いい中で初の決勝進出を決めた。投手を中心とした今年のチームは守備も堅く、ここまで2失策のみ。今日の準決勝は無失策だった。打線も好調で決勝はここまで二回の優勝を経験をしている入船鋼材。大会屈指の強豪チームに全力でぶつか。応援宜しくお願い致します。(前島)

根津鋼材						
投手	伊藤					
捕手	前島					
本塁打						
三塁打	伊藤					
順	守位置	選手	所属	打	安	点
1	8	林	浦安	3	0	0
2	4	上原	蓼科	4	1	0
3	2	前島	八潮	4	1	1
4	9	草野	須賀川	3	1	0
5	7	川田	須賀川	4	1	1
6	3	小美濃	八潮	3	2	1
7	7	河上	小山運輸	2	0	0
8	1	伊藤	浦安	3	1	2
9	6	田邊	相模原	2	1	0
				28	8	5

鉄鋼流通三団体合同野球大会 決勝

伊藤への交代を打診したが志願の完投。3点差があれば逆転される事は無いと自信の投球で優勝経験2回の強豪入船打線を2失点に抑え、優勝旗を手にした。



投打に活躍



先発大野が投打に活躍。根津鋼材初優勝の立役者となった。投げては立ち上がり四球が絡み失点を許したがその後は危なげなくアウトを積み重ね7奪三振と抜群の内容。打っては6回、一死一塁からダメ押しとなる自身第一号のツーランホームランを放った。



一点ビハインドの5回。ランナー一塁から一番林が何と清水球場のライト(恐らく百m位)のフェンスをバックバウンドで超すエンタイトルツーベースヒットを放ち同点とした。

林の同点打の後、続く二番田邊の場面。2ボールとなった時に相手の先発投手が肘の不調で急遽降板。勝機と見たベンチは田邊と三塁ランナー大野、二塁ランナー林を呼び、大博打をやるか相談。結果ワンストライク後にヒットエンドランする事を決めた。空振りの場合には本塁で憤死となるギャンブル(硬式野球でいうスクイズ)だったが田邊が見事に三塁へゴロを転がし大野が生還し逆転に成功。慌てた三塁手の一塁送球が暴投になり、更に追加点を上げた。

生涯青春 最高殊勲選手賞獲得 決勝大野予躍重丸



表彰選手は自チーム推薦で決められる。チームの全員の推薦で大野が最高殊勲選手賞に輝いた。

全員推薦

■試合結果 10月23日

根津鋼材 対 入船鋼材		1	2	3	4	5	6	7	計	H	E
根津鋼材		0	0	0	0	3	2	0	5	5	0
入船鋼材		1	0	0	0	0	1	0	2	7	2

根津鋼材						
投手	大野					
捕手	前島-小美濃					
本塁打	大野					
三塁打						
順	守位置	選手	所属	打	安	点
1	8	林	浦安	4	2	1
2	6	田邊	相模原	4	1	0
3	2	前島	八潮	2	0	0
4	2	小美濃	八潮	1	0	0
4	9	草野	須賀川	3	0	0
	9	上原	蓼科	2	0	0
5	3	伊藤	浦安	2	0	0
6	7	川田	須賀川	2	0	0
	7	大橋	須賀川	0	0	0
7	4	小浜	須賀川	2	0	0
8	5	根津	浦安	2	0	0
9	1	大野	浦安	3	2	2
				27	5	3



林

大野

田邊

野球部への応援有難うございました。

皆様の声援が後押しし、優勝という最高の結果になりました。二連覇を目指し頑張りますので引き続き応援宜しくお願い致します。 野球部一同

春先の福島での初練習から雲田気の違いを紙面にも取り上げたが優勝という形になるとは思わなかった。チームの構成上、中々集まらない中、大会中にチームとしての纏りと戦力が整っていった。試合に出られない仲間も声を出して一生懸命チームを支え、50期開始早々に会社に明るい話題を提供する事が出来た事は嬉しい。そして選手にとっても決勝までの戦い方、優勝する為に最善を尽くす事、優勝する楽しさを経験した事は計り知れず大きい。創部5年目、最高の結果と共に新たな根津鋼材野球部の伝統が始まった。

生涯青春創部 初優勝 5年悲願達成



全員でナンバーワン！！



優勝した根津鋼材チーム



東京鉄鋼販売業連合会、浦から始まった熱戦に幕を閉じ、安鉄鋼団地協同組合、全国厚た。当日は秋晴れの絶好の野球部が共催する「第7回鉄鋼流通3団体合同野球大会」の準決勝・決勝戦が23日、浦安鉄鋼団地内の「清水球場」で行われた。

決勝戦は、3団体合同形式になって初めて4強に顔を連ねた根津鋼材が、第1回と第5回の覇者・入船鋼材を5対2で下して初優勝。9月4日

合同野球大会

根津鋼材、熱戦制し初優勝

1点を争う投手戦で、5回表に根津がヒットの連打などで逆転、続く6回にも次の連り。(敬称略) カッコ内は所属企業)

【準決勝】
▽根津鋼材5×1エムエムホームラン
▽入船鋼材9-6古賀オー

【決勝】
▽根津鋼材5-2入船鋼材
▽入船鋼材5-1古賀オー

【個人賞】
▽最高殊勲選手賞 大野亮介投手(根津鋼材)▽優秀選手賞 中野拓日選手(入船鋼材)▽敢闘選手賞 大山信行選手(エムエム建材)▽同点試合賞 竹本伊織投手(古賀オー)



好ゲームに沸いた決勝戦